

令和7年6月1日号

まちなみ通信 No.73

～ 令和6年度修理事業について① ～



伝建制度50周年記念事業
「伝建スタンプラリー」

廿日市市宮島町のスタンプ

－ 修理事業内容 －

令和6年度、市の補助事業を活用した2棟の伝統的建造物の修理工事が完了しています。今月号ではその内、中江町の高橋家についてご紹介します。

高橋家は、中江町筋に位置しており19世紀後期に建てられたと推定される木造2階建ての伝統的建造物です。工事内容は老朽化した建物の修理と住宅兼店舗への内部改修です。

伝統的建造物の修理工事は、昔の写真や建物の木部等に残る古い痕跡に基づいて、昔の姿を調査し復原していきます。

昔の姿をよく残した建物ですが、工事前は木部や外壁が老朽化している部分もあり、空調の室外機やガスボンベが道路から見えている状態でした。

工事後の写真を見ると空調の室外機やガスボンベは隠され、より風格のある伝統的建造物に復原されました。木部の老朽化の補修は、木部用オイルを塗り工事前の色をそのままに木材の保護を行いました。

中江町ではこのように歴史的な町並み保存活動が盛んに行われています。皆さんで町並みを守っていきましょう！

主に工夫された工事箇所

ガスボンベ収納スペース
開閉式の出格子により景観に考慮



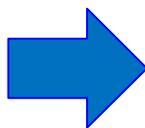
樋や設備機器
木板により隠し景観に考慮

工事完了までのスケジュール

年度	内容
令和4年度	補助金申出
令和5年度	建物調査 (令和5年6月頃) 図面作成 (令和5年6月～令和6年2月)
令和6年度	工事着手 (令和6年8月) 工事完了 (令和7年3月)



工事前



工事後

～ 伝統的建造物の紹介 No.8 《田中家》～

中之町表の町家通りに建つ昭和初期に建築されたと推定される町家です。表は丸桁を渡して縁を設けた出桁造となっています。

主屋は間口4間、奥行6間の2階建てで、先代までは酒屋を営んでいたそうです。建物の裏には、中庭や附属屋も残っています。

主屋は建設当時（昭和2年）とされる様子を良くとどめています。

1階は建設当初からミセを土間としており、その奥に2室の居室が並ぶ。建物の正面左側が通り土間で、通り土間と居室境には壁となっており、通り土間から各居室に出入りできるのが特徴です。

2階は前面側に座敷を備え、その奥は稽古場として利用していたそうです。

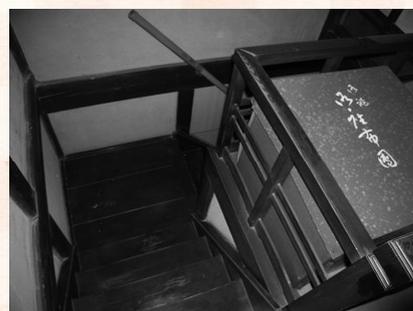
建物全体が昭和初期の姿をよく残しており、当時の姿を今も維持されている重要な建物です。



外観



内部の欄間



内部の階段

《補助制度》シロアリ駆除しませんか？

シロアリ駆除の時期は、4月～9月ごろが効果的です。

伝統的建造物の保存同意をいただいている所有者の方を対象に、シロアリ駆除のための補助制度を準備しています。（補助率9/10以内 上限100万円）※予算には限りがあります。

シロアリ被害にお困りの方や心配の方は、ぜひ一度、宮島企画調整課までご相談ください。

連絡先：(0829) 30-9119

【建物相談会のご案内】

建物に関する相談会を実施します！宮島企画調整課の職員がお待ちしております！

○日時：令和7年6月12日（木）9時30分～17時00分〈予約は不要です〉

○場所：etto 宮島交流館 1階会議室

○相談事例：建物のお困り事（雨もり、白蟻、外壁劣化、耐震化...）、補助制度など
※もちろん秘密厳守です。